

令和7年度10月教育委員会 会議録

開催日時	令和7年10月29日(水) 13:45～15:45	
開催場所	早島町立早島小学校	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、市橋晃委員、岡本善弘委員、加藤和子委員
	事務局	大崎俊二教育次長、芝原孝典生涯学習課長、牟田口順子こども未来課長、杉山豊係長、亀井大輝主事、
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 早島小学校授業参観について (2) その他 3 連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・早島町総合防災訓練(11/9) ・はやしま生涯学習まつり(～11/11) ・早島小学校かがやきフェスティバル(11/29) ・花ごぎピンポンチャンピオン大会(12/6) 4 閉会 	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者		

会議内容

<p>1 開会</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 早島小学校授業参観について</p> <p>白神教育長：授業をご覧頂いた感想や質問などあれば、お伺いできるとありがたいです。</p> <p>加藤委員：2年生の時に登校できなくて、辛い思いをしていた3年生の子のことを、先日小学校に来た時に校長先生に聞いたら、この頃良くて伸びましたと言われたので嬉しくなって、お父さんに会って伝えたら、満面の笑みでにこっとされました。なんで不登校になっていたか知りませんが、子どもが変わっていくのはとてもいい。</p> <p>子どもはいつもタブレットを使っているから、漢字の書き順が違ったり文字を書</p>

くのがちょっとね。5年生の教室で文字を書いているのを見せてもらったら、筆圧はちょっと寂しいけど文字を書いて良かったと思ったのと、家庭科のボランティアで来させてもらったら、5年生の子が「あ、加藤さん」と名前を呼んでくれて嬉しかったです。大人でも嬉しいのだから子ども達に名前で声掛けするのはとてもいいと思って、今日来させてもらって大きな収穫です。幸せでした。知的の部屋では、先生と子どもが1対1でして手厚いなと思いました。来年から情緒の教室ができるということで早島に行きたい保護者の方が増える気がしました。今日はまた違う角度でとても良かったです。ありがとうございました。

市橋委員：ひまわり教室の生徒は楽しそうな感じがしたので、仲も悪くない感じもあり、ここから普通の教室に戻っていったら1番いいのかなと思います。ここがある程度下支えすれば学校として上手く循環するのかなというイメージがありました。下の学年であるほど従順だしちゃんと聞いている感じもあるし、6年生は落ち着いているなという感覚もあります。4年生と5年生のあるクラスで、少し席を立ててウロウロしたりでちょっと雰囲気が違う感じがしました。教室の後ろの方がぎりぎりの所が何クラスもあり、狭いなと感じる教室もあれば余裕な教室もあって、今資料を見ると多いのは3年生だけどそんなに狭くは感ませんでした。教室の問題は大変だなと実感としてあります。

白神教育長：3年生は5クラスなので余裕が感じられる。他は4クラスなので35人に近い学年もあります。

岡本委員：タブレットの使用を見ていると、高学年になると自由自在に使っている感じでした。全体的に子ども達は落ち着いて授業を受けているなと思いました。ちょっと先生の指示が通りにくいのかなと感じたクラスもありました。子ども達の視線がどこにあるかが気になるのと、書写の時間に先生が「はい書いてください」と言った時に、生徒達の姿勢がバラバラでした。「姿勢を正して書いてください」と、もう一言あると良かったかなと思いました。2年生で掃除の細かいやり方などがきちんと表示されていたり、生活目標も掲示板にきちんと書かれている。細かい目標や行動の見える化がされているのは、困り感を持っている子にはすごく良い助けになるだろうという気はしましたので、学年に関わらずそういった配慮は続けていくべきだし良いことだと思います。校舎や体育館が古くなってきているので、安全面に配慮しながら使っていくって欲しいなと思うし、修繕なども大きな課題かなと思いました。初等教育は基礎基本だとずっと思っているのですが、しっかり筆圧をかけてきちんとした文字を書くとか、話し言葉も「ですます」で、基礎基本を繰り返し根気強く先生方には指導して頂きたいのが1番の思いです。ありがとうございました。

栗坂委員：いいなと思ったクラスは3年1組の社会科で、進め方が素敵だし丁寧にまとめもされていて、良い授業をされて子ども達も落ち着いているなと思いました。ひま

わり7の授業も、丁寧にまとめがされていていいなと思いました。6年生は4クラス同じ授業をされていましたが、6年3組はすごく学習評価も出来る授業だなと思いました。全体を見せて頂くと、先生が今日の目当てはこれでこんな風に進めていきたいと思いますと進められている授業と、ある程度個人に任せていて、今日の活動は1番これで4番までこうですと、個人に任せられた授業の時の進め方ってひと工夫いるのかな、あるいは細かく切っていて、1番の活動が済んだら全体で振り返るとか確認しあうとか、ずっと通しで子ども達に任せていると、一人一人が自由なので隣りの子と話したりになりがちかなと思いました。お尋ねですが、ひまわり3に男性の先生が1人立っていて、子どもに1人ずつ先生が付かれていたようでしたが、先生の立場がどうなのかなということをお教え頂きたいと思います。4年生のあるクラスで、耳が不自由な人について調べようというのがあって、板書に、勉強ができないとか、会話ができないとか、仕事ができないとか・・・板書なのでものすごく入ってきました。耳の不自由な人が数々出来ないというのが板書にあったので、授業の狙いと言うか授業の着地点がどこなのか気になりました。全体的にすごく落ち着いていて、子ども達はしっかり学べていたと感じました。ありがとうございました。

白神教育長：事務局でご意見のある方がいれば。

大崎教育次長：昨日、県の財務課が来て中学校の確認をしてもらいました。どうぞ指摘を受けたかだけお知らせします。特別教室も含めて教室や体育館、体育館の倉庫の中、子どもが入るであろう場所の中の、例えばロッカーはL字フックで留まっていなくて地震の時に倒れる可能性がありますよねという確認や、昔のブラウン管のモニターがまだ教室の中にぶら下がっていて、使われていないなら早期に撤去すべきではないですかとご指摘頂きました。図書館の窓際に置かれている書棚がちょっと低くて、身長が高い子もいるので、座った時に後ろに倒れませんか、配慮はどのようにされていますかということもありましたので、上にも本を置いて子どもが座らないように工夫が要りますねとご指摘頂きました。中学校の体育館の中のガラスにヒビが入っているけどワイヤーが入っているガラスなので完全には砕けて落ちてこないけど、このままほっておくのは良くないとご指摘頂きました。あれを全部やり替えるのはちょっとしんどいかなと。

小学校の施設のどうかなと今日見せて頂きました。通常の授業をされている所でそういった箇所はなかったと思うので、また何か気になるようなことがあればお話しさせていただきます。

芝原課長：全体的には落ち着いているかなと見受けられました。ひまわりは、窓ガラスやクラス表示の所にハロウィンの飾りを付けている所がいくつかあり、そういった工夫をされていたのが良いなと思いました。

牟田口課長：早島小学校の児童が日頃から挨拶をしつかりしてくれるなと思っています。今日も学校に入った瞬間からすごく挨拶をしてきていました。授業はどのクラスも落ち着いているなという印象と、タブレットをみんなすごく使いこなしていて、特に6年生は調べ物のタイピングもすごく早いし、通常調べものなどは集中力も途切れるのかなと思いますが、6年生のどのクラスもすごく集中していたのが印象的でした。学活をしている所はちょっと賑やかかなと思いましたが、季節に応じたハロウィンを楽しそうにしていたのは良かったなと思いました。

白神教育長：子ども達にどうやって、そのクラスでは昨年習ったことを挙げて、苦手なことをどうやって復習しますかという話になり、プリントでとか、教科書の補充問題をやりましょうとか、タブレットに問題が入っているからそれでやりましょうとか、自分で選んで決めなさいと言っておられた先生がいらっしゃるって、それはそれで個人に選ばせて、その個人に合わせてやるからそこはいいかと思いましたが、全部は見えていないので確認をどうしたか。この子はこれを使ってどのような学習や振り返りができたか、個人に任せてしまうと個人に合わせた学習形態でいいけど、それをどう先生方が把握して次に活かしていくかが難しいのかなと。それはこれからの研修とかで押さえていってくれたらと思います。色々なご意見など頂きましたので、学校よりご回答があればお願いします。

井上校長：加藤委員さんが言われていた子は、学校適用に課題のある子の1人で、昨年度自立応援室や欠席の多かった子ですが、今年は春からこちらが思った以上に適応できています。ステップアップルームを活用することで通常学級へ適応出来るようになったというのがありますけど、友達との関わりも良くなったことも大きかったのかなと思っています。今後も教室へ戻っていける子が増えるよう頑張っていきたいと思っています。幸せでしたと言って頂けたのがありがたいです。ありがとうございました。

市橋委員さんから、特別支援学級の下支えという言葉頂きました。これは早島小学校の課題で、県内でも特別支援学級の入級率がとても高い学校です。他の多い自治体でも4～5%ですが、それが昨年度うちでは7%くらいで60名を超える子が入級していました。今年度は50名です。このままずっと50～60名で推移するのではなく、この学校であれば、適切な就学指導が出来れば4～5%まで減るのではないかと思います。第3の学びの場として、令和8年度から情緒通級がスタートします。ソーシャルスキルや学習適用などをしっかり、学びの土台の土台の部分、下支えをして通常学級へ適応していくという流れを作っていきたいと思っています。ご指摘頂きました4年生と5年生のあるクラスは、学校としても課題として取り組んでいます。帽子を被って外から戻ってきた子も、昨年度は自立応援室の常連でしたが、少しずつ通常学級で学習に向かうこ

とが出来はじめています。帽子を脱ぐことが難しかったり、みんなと同じ様に出
来なかったりはありますが、良くなっている途中で見守っている段階です。それ
ぞれの学級に課題はあるので、しっかり対応していこうと思っています。

岡本委員さんが言ってくださった、行動の見える化とか行動チャートは、本校の
研究として取り組んでいます。なかなか適切な行動というのが子ども達もわから
ない。学校としてどうすれば望ましいのかをしっかりと見える化して、先生も意識
して子ども達にも意識してという所をしっかりとやっていっているところです。今
後も続けていきたいと思っています。初等教育の基礎基本はわたしも同じ思い
で、これをする事で学習への適応が進むと思っていますし、授業中の教師の話
し方も気になっています。先生方も現代っ子なので指導して参りたいと思ってい
ます。建物の安全修繕については教育委員会がスピード感をもって対応して下さっ
ているのでありがたいです。

栗坂委員さん、授業の良いところを見て頂いてありがとうございます。若手の中
でも本校で頑張っている教員にスポットライトを当てて頂いて、本人にも伝えよ
うと思っています。私自身も戸惑いがあるんですが、学びを子どもに委ねるこ
とは県の方針でもあり、授業感を変えなきゃいけないくて、子ども達が自分で選んだ
テーマを自分で選んだ場所でやりたい友達と一緒にやりたい所で学んでいく。な
かなか教師がそこまで全てはモニター出来ていなくて、これも研究の1つです。
こんなこともやっています。子ども達書き込むと運動場に居ようが廊下に居よ
うが教室に居ようが、1つのクラウドに集約されて、教師は今どんなことをやっ
ているのかモニター出来るようになっていきます。モニターするだけではいけない
ので、そこで適切な指導出来るようにしたいと思っています。障がいのある方を
テーマにした総合的な学習の時間については、しっかり人権への配慮がなされる
ように確認をしていきたいと思えます。昨年度、総合的な学習の時間を使ってハ
ロウィンパーティーをしたことをご指摘頂いて、今年度は、総合的な学習の時間
の担当者と共に来年度に向けて今、年間計画の見直しもしているところです。宿
題にさせて頂きたいと思っています。今後も引き続きご指導ご支援よろしくお願
い致します。

白神教育長：貴重なご意見を頂きました。先生方にフィードバックしながら、研究とか授
業改善に結び付けて頂けたらと思います。ありがとうございました。

教育長あいさつ

白神教育長：【資料：あいさつメモ】

朝夕過ごしやすい気候となりました。インフルエンザが全国的には少し早目の
流行と言われているので、手洗いうがいや人の多い所ではマスクをするなど気
を付けていきたいと思えます。

本日は小学校での開催ということで、先程は授業を見て頂き、学校にもプラスになるようなご意見を頂き大変有難く思います。校長先生が上手く先生方に伝えて、更に高みを目指して頂けることと思います。

10月22日に岡山教育事務所管内の教育長連絡会議があり、働き方改革の資料の中で、時間外在校等時間が多いのは4月で、職種は教頭が多い。今、教師業務アシスタントが教員の先生の仕事を減らさないといけないということで入っています。教頭先生の仕事の中で出来るものを軽減すればいいのではないかと、教頭先生の仕事もとれるような要綱に変えたような話をしていました。支援対策構築事業は、過剰な要求等への対策を県でも考えていますよということでした。

今話しをした中で、興味があったりこれはというのがあれば。

栗坂委員：過剰な要求等への対策は本当に有難いです。何か支えてもらえるような、大変なんだなと気にかけてもらえるだけでも気持ちが違うかなと、ちょっと期待したいなと思います。

白神教育長：学校だけの事ではないですが、学校の場合、すごいものに対しては弁護士に相談することが出来るようになっていきます。岡山弁護士会と県教委が提携していて、県教委に相談したいんですけどと言って、いいですよと言われると弁護士に面会でも電話でもいいので相談できるようになっています。

学校の規模にもよるかもしれませんが、どのようなことができるのか、そっちの方に舵をきったというか、そういったことも考えないといけないと県教委も思ったのはプラスになっているのかな。教師がしなくてもいい業務にそれが入ったのでね。

加藤委員：保護者からの要求を何もかも受け入れるだけではなく、これはどうだと考えていけないと。困った時に倉敷市だと教育委員会の指導課や学事がバックアップで応援してくれるといいんですが、どうにかしてくださいとこちらに投げられたらね、若い職員はウロウロ困ってしまう。

白神教育長：特に経験のない方とかは、今は先生がついているのでね、一人で対応すると言った言わないとなっても二人いればね。

岡本委員：教頭だった時を思い出していました。最初は小さい学校に教頭で入りましたが、小さいけども生徒指導の問題がものすごくあり少ししんどかったんですが、転勤で大規模校の教頭で入った時は楽になりました。なぜかというとならぬと教頭の複数配置で2名いたんです。もう1人の教頭とはコミュニケーションがとりやすかったので、1年間の仕事の分担を嚴重にしたら、小規模校にいた時より楽になりました。だから、誰が教頭のアシスタントに入るかというのも、誰が入るにしても、一緒にする人とのコミュニケーションや互いへの思いやりなどの人間関係が出来ていないと、誰が入っても一緒かもしれないし、誰かが入ってそこが上手くいけば

歯車が回るかなど、自分の経験からは思いました。

白神教育長：複数の所は相手の人との人間関係が大きいかと思えます。教頭先生の仕事も、取れる仕事と取れない仕事があるから、主幹教諭とかでも取ってあげられないものもあるから。出来るところから変えていかないといけないからね。

市橋委員：先生がしなくてもいい仕事は外部に出していくんですか。

白神教育長：外部に出してもいいのか、お金も絡んでくるし、学校なので当然守秘義務もあると思うし。

市橋委員：資料を見ていたら、ネットワークの保守管理や施設設備の管理や施錠などは警備保障会社だなと思ったり。

大崎教育次長：中学校でデジタルロックを考えていて、いつ誰が開けたかログが残るような、システムの鍵を集中管理しようと今考えています。地域移行に併せて体育館武道館が、学校以外の方が使われるので、鍵の管理をどうするかを検討しています。例えばナンバーキーだと、ワンタイムパスワードを発行できるので、そういったのもいいのかな。予約管理システムで登録して許可がおりたら、鍵の番号がメールでとんでいくような仕組みを考えています。

(2) その他

【特になし】

3 連絡

白神教育長：次回は11月28日（金）15：00～、役場2階第一会議室で開催致しますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

4 閉会